

# 公方おもかげの道

## 阿南健康第13番完歩 那賀川の道

那賀川公民館平島分館  
那賀川町赤池307-2  
TEL

### 便利メモ帳

那賀川北部駐在所: 42-0554  
那賀川南部駐在所: 42-0054  
今津タクシー: 42-0724  
益崎胃腸科内科: 42-0022  
村上内科外科医院: 42-3110



土手は車道避け、中腹の道を歩きましょう！

# 公方おもかけの道

## 阿南健康第13番完歩 那賀川の道

①那賀川公民館平島分館	1.2km	②須賀の庵	1.0km
③阿波公方民族資料館	WC	④阿波公方館跡	700m
⑤古津八幡神社	1.0km	⑥三栗八幡神社	⑦西光寺
⑧平和の碑	1.0km	⑨下の庵	1.7km
⑩阿波中島駅	1.1km	⑩宝満寺	700m
WC	300m		

●須賀の庵 八代公方義直が招いた京の名儒島津華山をはじめとして、公方家の家臣の多くが葬られた墓所である。家臣の墓も公方や華山の影響を受け、墓碑を刻んだものが多く興味深い。華山の墓は、亀に載った亀跌という様式で、墓を整備したときに銅板の墓誌が発見され、墓誌は資料館に展示されている。亀跌も墓誌も中国古来の伝統で全国的にも珍しく、公方と華山の知識の高さがうかがわれる。

●阿波公方館跡 「御所」とも呼ばれ110メートル四方の広大な敷地に、京都の公家屋敷、武家屋敷を兼ねた豪勢なものであったと伝えられている。初代公方義冬から九代公方義根が退去するまで約270年間阿波公方が代々居住した館である。公方義根が京都へ帰ると同時に館は取り壊され、建物は各地に移築され、敷地は水田に開かれた。小松島市地藏寺の玄関と書院、阿南市吉祥寺山門などが遺構として知られている。水田にはお屋敷・馬場・お花畑などの地名が残されている。

●阿波公方民族資料館 かつての平島公方館跡に昭和63年に建設され、阿

波公方に関する歴史資料が保存、展示されている資料館で、足利氏をしのぶ貴重な文化財がある。

●古津八幡神社 公方館にあった三社さんが合祀され、初代平島公方足利義冬が寄進した石灯笼がある。

●三栗八幡神社 平島公方の尊崇神社として知られ、七代足利義武建立の石灯笼が2基残っている。

●西光寺 昭和17年火災により本堂は焼失したが、仁王像のある山門が残っている。また、菊花と二つ引面の紋章の入った冠木門があり、ここは十代將軍義種、十四代將軍義栄を始め、初代阿波公方から八代阿波公方義直まで歴代公方の墓所でもある。

●下の庵 下の庵の門は、公方館の小門の一つであったと伝えられている。

●宝満寺 今から三百年余の昔、西光寺から独立したといわれている。現在県下でも非常に数少ない阿弥陀堂が残っているだけに室町時代には大変栄えた寺でなからうかといわれている。本堂は、方丈形式で入母屋造りの本瓦葺き、鎚破風向拝を持つ一般的な建物である。大師堂は寛政12年に完成、ほかに鐘楼があり、大師堂以外はすべて近世以前と思われる建造物である。大師堂建立に当り九代公方義根が書いた古文書が現存している。